



アズマンロカネソウ	<i>Dichocarpum nipponicum</i> (Franch.) W.T.Wang et P.K.Hsiao	絶滅危惧Ⅱ類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(加藤範夫) 
形態の特徴	大きな鱗片に密に被われた短い根茎がある多年草。茎は高さ10-25cm。根生葉は0-1枚。下部の葉は左右にズレてつき、上部の葉は対生。花期は5-6月。茎頂に径7-10mmの黄緑色で外側は紫色を帯びた半開きの花をやや垂れ下がって咲かせる。	
生態的特徴	林床に生える。	
分布状況	本州(秋田県より福井県までの日本海側)の温帯に分布する。県内では県北の北部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北の北部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	
		

文責:佐藤和良